

長尾福祉会報

平成24年4月1日

第25号



のぞみ園 ひな祭り茶会(3月3日)

—長尾福祉会理念— 障害をもっていても もっていなくても 男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる社会づくりをめざします。

もくじ

いのちを守る	2
明るい介護未来に向けて	2

デイサービスセンターゆたか

地域のなかのデイサービス	3
--------------	---

ゆたか荘

祝開荘十二周年	4
平成23年度 第3回ゆたか荘家族会の開催について	4
心こもった介護	4
人生ゆたか老後ゆたか	5
香川かいごみらい文化祭	5

のぞみ園

障害者スポーツ全国大会	6
女子寮外出	6
日帰り旅行	6
新しいお友達	6

保護者のあいさつ	7
クリスマス会	7
合同余暇	7
地引き網	7

新任職員紹介	8
ご支援ありがとうございました	8
オープンを購入しました	8
療育支援の充実をめざして	8
編集後記	8

いのちを守る

障害者支援施設のぞみ園
園長 松木 正美

—24年度の目標と課題—

のぞみ園

目標

- 利用者の意思および人格の尊重
- 利用者の立場に立った生涯福祉サービスの提供
- 就労支援への取り組みの推進
- 障害児支援の強化

課題

- 各事業の円滑な実施と経営の安定
- 的確な個別支援計画の作成と実施
- グループホーム・ケアホーム移行への検討
- 放課後等デイサービス事業所の建設
- 相談支援事業の充実
- リスクマネジメントの徹底

昨年の東日本大震災から1年が過ぎましたが、いまだ復興への確かな歩みは見えていないと思います。被災された皆様は、困難を乗り越え、支えあいながら一歩一歩前に進んでいらっしゃることだと思います。

のぞみ園も震災を教訓にいつ、どんな災害が発生するか常に意識し、防災、避難訓練等に努め、利用者の安心、安全の体制づくりを推進していくます。あわせて、「生命」の大切さを日常生活のなかで利用者とともに確認していきたいと思います。

さて、今年は、障害者総合支援法の制定にむけ、障害者制度改革の方向性が示される重要な年です。のぞみ園も新体系サービスに移行して4年目を迎えるが、常に利用者や家族の立場に立ったサービスの提供に努めてまいりました。これからも法趣旨を遵守し、地域や利用者に信頼される施設づくりを進めていく決意です。

また、今年は、国等の補助金をいただき、児童ディサービスセンターを長尾西下辛立の地に新築移転します。小学生から高校生まで利用できるものにする計画です。地域の皆様のますますのご支援、ご協力をお願いします。



—24年度の目標と課題—

ゆたか荘

目標

- 重度化による医療・介護の連携強化
- 自主防災組織の確立
- 高齢者が地域で安心して暮らせる街づくりへの協力

課題

- 科学的・高品質サービスの提供
- 自主防災訓練の実施・点検
- 地域交流と地域貢献活動



地域福祉にご熱心な大山市長様と

明るい介護未来に向けて

昨年は津波や原発事故、大雨による自然災害等、多くの犠牲者を出した心重く忘れられない一年でした。そんな中、いつものように桜の季節を迎え、淡いピンクの花びらが、ここの中までやさしさと被災地の復興に向けての希望を届けてくれているようです。

一方、社会の中では高齢化がますます加速し、これから社会保障のあり方や財源の確保について様々な議論が続くなかで、誰もが安心して暮らすことができる地域社会と福祉の充実を目指して、私達にできる小さなことからでも始めていきたいと思っております。ゆたか荘では、3月に「かいごみらい文化祭」と題し、高松南高校吹奏楽部様、夢幻の会様、劇団ピチミュージカル様、他多くの企業様のご協力を頂き盛大に開催することができました。「介護をされる人も、介護をする人も幸せになれる明るい介護の未来へ」、高齢者を支える大切な仕事として、介護について正しく理解して頂き、介護のイメージアップを図るとともに、笑顔で「介護」が語られる明るい社会の実現に向けて、社会福祉法人の使命として地域に発信していくたいと思います。

これからも、ゆたか荘の利用者様やご家族の皆様、地域の方々にご支援、ご鞭撻を賜りながら、職員一同一層の努力をして参りますのでよろしくお願い申し上げます。

特別養護老人ホームゆたか荘
施設長 朝倉 裕子

デイサービスセンターゆたか

福祉サービス第三者評価受審について



福祉サービス第三者評価とは、香川県が推進している事業所のサービス内容や運営状況について、公正・中立な第三者機関が評価を行い、事業所のサービスの質の向上を促進し、あわせてサービス利用者の皆さまへの情報提供を行うものです。

デイサービスセンターゆたかでも昨年末受審致しました。公表結果については香川県のホームページなどでみることができます。

香川県 第三者評価

検索

所長 矢野 勝久

高齢化人口がますます増えている現状のなか、今回介護報酬の改正が行われました。将来を見据えた医療・介護のあるべき姿を念頭に介護サービスの充実・強化が図られた内容となっています。

デイサービスセンターゆたかでも今回の改正に伴い、四月より、利用時間、加算内容が変更となりましたが、利用者・家族の方の声を常に聴きながら、デイサービスの充実に繋げていきたいと考えております。また、地域ニーズに対しても柔軟に対応していく姿勢と皆様に愛されるデイサービス作りへの熱意は変わることなく持ち続けてまいります。

今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願い致します。

地域のなかのデイサービス

デイサービス 午後のくつろぎ集



昼食後、レクリエーションまでの小一時間は自由時間となっています。お昼寝をする方、利用者の方同士で会話を楽しんだり、知能レクプリントや趣味活動と共にされたり、また食後の運動として体操に参加されたりと多種多様な光景を見ることができます。

ゆたか荘

祝開荘十二周年

介護職員 谷本 久美子

十二周年を迎えた三月一日、ゆたか荘では十二周年を祝う会が行われました。風食のお赤飯やおさしみ等、ご馳走が一杯つまつたお祝い膳から始まり午後からは、さぬき民俗芸能保存会様が来荘され鮮やかな衣裳に身を包み艶やかな踊りを披露して下さいました。利用者様や職員もお腹一杯になり心も体もゆったりとしながら手拍子や合の手を打ち、笑顔で楽しい時を過ごしました。関東では大雪、さぬきも昨夜はつっすらと雪化粧になりましたがゆたか荘内ではポカポカと熱氣に包まれておりました。

十二年といえば干支でもあるように一つの節目です。この良き日に皆様と一緒にお祝いできた事に感謝いたします。あの松下幸之助氏も「竹にフシがないれば、ズンベラボー」とりとめがなく風雪に耐える強さも生まれてこない。流れる歳月にもやはりフシがいる。ともすれば、とりとめもなく過ぎていきがちな日々である。せめて一回はフシをつくって身辺を整理し、長い人生に耐える力を養いたい。」とフシづくりの大切を強調しています。「竹の郷長尾。」又ゆたか荘で利用者様、御家族様、地域の皆様と共にフシづくりをして行きたく思っています。



職員紹介

心こもった介護

私の目標は「心こもった介護」です。

仕事をこなさないでなく、一つひとつに心こもった丁寧な対応を心がけています。しかし時々業務的な対応をしてしまい、後悔してしまう事もあります。

私は、たくさんの人生の先輩と出会い、色々なお話ができる介護の仕事を楽しくて大好きです。また、利用者様に「ありがとうございます。また会えるのを楽しみにしてる」と笑顔で感謝の言葉を聞くたびに、信頼して頂いて感謝するのは私の方なのに…と思います。

一人ひとりのご利用者様に合ったより良い介護を目指し、ちょっととした変化や新たな発見を職員同士で共有し、皆様に信頼される温かい介護が自然に出来るようになります。初心を忘れず、介護をする側の自己満足にならない様、利用者本位、その人らしさ、楽しく笑顔で生活できる環境づくりを第一に考えて行きます。

最後に、子育て中でも仕事に集中できる環境を整えて頂き、大変ありがとうございます。



介護職員 木村 優子

主任生活相談員 新開 正義

平成23年度 第3回ゆたか荘家族会の開催について

3月18日㈯、今年度第3度目となる家族会を開催致しました。

生憎の雨となりましたが、参加予定者43名のところ、8名増の51名のご家族が参加して下さいました。また、ご家族ご利用者の意向としてレク・行事参加を希望されていることもあります。必ず使用する靴についで、その人に合うように靴の種類やサイズ選びを行つてきましたが、その言葉を聞き、更に慎重に「足に合った」靴選びをしていかなければならないと改めて感じました。

その後平成23年度事業の進捗状況及び24年度の事業計画について、統一して各委員会の委員長から進捗状況・取り組み説明、4月からの介護サービス費改定に関して、説明を行いました。質疑のなか、「実際に何がどう変化があるのか?」等の質問があがるなど、関心の高さが伺えました。今回ご家族様より頂いた意見や提出頂いたアンケート内容を真摯に受け、集計・分析し、今後の家族会の在り方や口頭のサービス・接遇に活かしていきたいと考えています。

常日頃より感じて頂いたが、この家族会を通して、ご家族のご利用者を思う気持ちが強く、また施設運営に対してのご支援、協力も感じることができます。そこで、今後とも誠心誠意サービス提供に努めていきたいと考えています。



レクリエーション

運動、作品、頭の体操等、様々な内容のレクリエーションを行っています。なかでも大人気なのは、風船バレーです！あまり気乗らない御利用者も目の前に風船が来ると、手や足がでて、いつの間にやら一生懸命に笑顔で楽しめています。



ショッピング

毎月近隣の商業施設へショッピングに出掛けます。参加されるご利用者の皆様も楽しにされております。ただ、買い物に出向くだけではなく、時には御家族様に付き添って頂き、一緒に買い物を楽しんで頂いております。



清物クラブ

「漬物名人」の御指導のもと、沢庵と白菜漬け、ぬか漬けを作りました。微妙なさじ加減まで教えて頂き、とても美味しい漬物が出来ました。



園芸クラブ

「お花が大好きなの。これからも季節のお花を皆さんに楽しんでもらいたいです。」(福島様)
お店で花選び、植え込み、手入れ、肥料まで、一鉢一鉢に愛情を注ぎながら大切に育てられています。



節 分

2月3日にオープンスペースにて節分豆まきを行いました。鬼に扮した職員3名が御利用者の前に登場すると、歓声と共に「鬼は外～福は内～」と、勢いよく豆を投げられ、今年一年の幸福と健康を願いました。



聖母幼稚園との交流

定期的に来莊頂き、御利用者の皆様に、見て、聴いて、楽しめる歌や踊りを披露して下さいます。

なによりその可愛い姿に御利用者は癒されています。



ひな祭り

爽やかな春風の中、ひな祭り茶会に参加しました。雛人形の前で、抹茶や和菓子に舌鼓をうち、「今日は楽しひな祭りい〜。それそれが思い思いに過ごされ、中には若い頃の節句の祝い方をお話し頂ける方も(^_^)



長尾小学生との交流

3年生・4年生と交流を持たせて頂き、御利用者と共に楽しい時を過ごさせて頂きました。

小学生の頃より福祉に興味を持って

頂き、将来の仕事選びの際に選択肢の一つにして頂ければ幸いです。



前日までの予報では、雨を伝える傘マーク！当日、朝のうちは雨が落ちることもありましたが、昼前には太陽が顔を出し、日差しの優しいボカボカ陽気に包まれました。天候も、これから介護の未来は明るい！と歓迎してくれたように思います。

香川かいごみらいプロジェクトは「介護する人も、される人も幸せになれる介護」へ、介護業界がひとつになって頑張ろうとするアクションです。そのひとつ取り組みとして、介護の仕事の素晴らしさや感動を、現場の第一線で実際に働くスタッフより伝え、介護の仕事をに対する正しい認識を普及することで、イメージアップを図るとともに、若年層の就労の後押しをすることを目的に、今回「かいごみらい文化祭」を開催しました。

この文化祭では、介護とは無縁の生活を送つておられる方にも、まずは気軽に介護施設にお越しいただき、介護職場の雰囲気や日々進化している介護の考え方について身近に感じて頂きたいとの思いがありました。内容は、バザーを始め、「尾崎老人会」様の協力で竹を使つたおもちゃ作りや、「和太鼓集団夢幻の会」様、「劇団ブチミユージカル」様、「高松南高等学校吹奏楽部」様の演奏、加えて徳武産業様、大塚製薬様、キヨーピー様、日協堂医療器様など、介護に携わる様々な企業の協力を得てブースを設け、広義の視点で介護について学び楽しむ、そして施設での取り組みや生活風景などをパネルで紹介させて頂くものとしました。

お陰様で約250名の方がご来莊下さい、イベントとしては盛大に開催することができたと思います。

今回の取り組みは、かいごみらいプロジェクトの一貫として行いましたが、取り組み趣旨は我々現場職員として大変重要なこと

あります。地域との交流及び広く介護についての紹介をしていく使命が我々にはあると認識し、

これらの文化祭をきっかけに今後とも活躍の場を広げていかなければならぬと考えております。

これから介護現場活性化のため、介護の魅力を伝え続けていきます。



香川かいごみらい文化祭

～介護の現場から介護の魅力を伝えます～

主任生活相談員 新開 正義

のぞみ園

全国障害者スポーツ大会

生活支援員 山石 久

平成23年10月22日（土）から11月24日（月）まで開催された、第11回全国障害者スポーツ大会おいでませ山口大会に香川県選手団として参加しました。全国の方々とスポーツを通じてふれあう事ができ、とても貴重な体験ができました。



利用者 田辺 光春
フライングディスク競技に参加し、ディスタンスでは3位となり銅メダルをもらいました。またできたら参加したいです。

女子寮外出（木下大サークス）

女子寮 審長 森 由貴子

久しぶりのサークスで、出発前からワクワクでした。空中ブランコやキリン・ゾウのショーが特に人気で、皆さん目を輝かせていました。猛獣ショーは怖がりながらも、ホワイトライオンの珍しさに目を奪われました。



新しいお友達

菰淵 朱美

二月から女子寮に入所しました。皆さんよろしくお願ひします。



日帰り旅行

生活支援員 高尾 愛

十月十六日、レオマワールドへ行きました。みんなで昼食を食べた後、アトラクションに乗りつたり、パレードを見たり、思い思いに園内を周り楽しみました。



保護者の一言

小谷 編代

長尾福祉会の理念であり、また故村尾トヨ子園長が常に言っていた「障害を持ついても持つていなくても、男も女も生まれておめでとう、長生きしておめでとう、と云える社会づくりを」この言葉が私は大好きでした。園内には常にその理念に基づいて、職員、利用者の人達が努力し力を合わせて来て現在に至つたと思っています。娘は、のぞみ園でお世話になり五年半になりますが、職員の皆様のご指導お世話により、お陰さまで楽しく日々通所させて頂いております。

私達保護者もいろいろな行事に参加させて頂き有難く思っています。又施設は高台にあり眺めは美しく、四季折々の景色もたのしませててくれています。桜の花芽もふくらみ穂やかな春の日差しに包まれて恒例の花見茶会も開催されました。今後も皆様と一緒によりよい施設であります様願っています。

クリスマス会

生活支援員 宮下 義之

平成23年12月22日、クリスマス会を行いました。ボランティアによるバルーンアートショーやギター演奏等が行われ、とても盛り上がりました。最後にサンタクロースが登場し、プレゼントが。利用者の皆さんに笑顔が見られ、楽しい時間を過ごす事ができました。



合同余暇

生活支援員 間島 義博

1月24日(火)、のぞみ園交流ホールにて合同余暇を行いました。ホール内にミニボーリング、的当て、福笑い、鬼の変装グッズを用意して利用者を迎えると、みなさん元

氣にそれぞれの催し場所へ行き、笑顔で明るく楽しんでいました。



地引き網

生活支援員 阿部 純

9月23日、津田の曾根海岸の地引き網に参加しました。地域の方達と協力して網を引っぱると多くの魚が捕れました。皆、魚・たこを触って嬉しそうでした。その後、焼きそばや捕った魚や肉でバーベキューをしました。初めての体験の連続で楽しい思い出になりました。



新任職員紹介



ご支援ありがとうございました。

惠香百貞多松山小森松元吉井氏黒小長真國廣植真山小(有)岡な玉二龍
生西十田原下谷川山井山川上家田林尾鍋方田松部地西ア島の木股土
四廣ヒ美婦美恵アン花精地満
ノ恵銀昭辰正絹康幸博徳良昌憲人映幸智美ヤ青圭ザ良薬肉改良
園子行文美雄幸代生雄之子子ミ子子一会子部治子子子果一イ一局店区馨
様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様



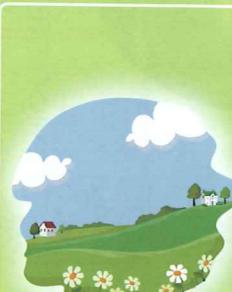
中央競馬馬主社会福祉財団より補助をいただき
新しいオーブンを購入、
三月十日支援センターに
設置しました。

小 羽 砂 堀 熊 宮 大 堀 砂 羽 小
のぞみ園 本 野 川 鹿
清 医 療 食 品 な 暢 三 玲 由
合 田 本 田 保 護 者
工 務 店 浩 實 翼 (株) 会 ベ 子 池 咲 河 子 紀 倉
務 店 樹 實 翼 (株) 会 ベ 子 池 咲 河 子 紀 倉
様 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹 樹

新編　日本書紀傳

編集後記

暖かくて過ごしやすい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。



幼稚児児童だけでなく中高生までの生活重視の個別・小集団療育の場へと昨年より年齢枠を広げて対応しております。今年度は一年後の新築移転に向けて定員を拡大し、療育体制も充実させました。保護者との連携のもと、一人ひとりとじっくり向き合った支援を進めて参りますので、ご利用いただきたいと思います。

療育支援の充実をめざして